メガ盛り！自由研究のヒント③

新聞を通し戦争考える

夏休みも後半ですね。最近、新聞で「戦後75年」という言葉を目にします。1945年８月15日、昭和天皇はラジオを通じ、日本の降伏を国民に伝えました。今年も終戦の日がやってきます。新聞では戦後75年に関する特集が組まれたり、読者の投稿が増えたりします。この機会に戦争について考えてみましょう。

思いを投稿してみよう

岩手日報では、読者が投稿する「声」のコーナーで「戦後75年」の特集が組まれ、そのほかにも戦争関連の記事が掲載されています。また、全国の地方新聞とNHK、ネットメディアが連携して、戦時中の体験談やエピソードを募集する「#あちこちのすずさん」キャンペーンを行い、記事にしています。

戦争に関する新聞記事をスクラップして、感じたことを書き込みましょう。準備する物は、A４判30枚のノート、はさみ、のり。進め方は次の通りです。

①「戦後75年」、戦争、平和などに関係する記事をスクラップしていきます。

②スクラップした記事には必ず3行ほどの自分のコメントを記載します。

③自分の意見や考えたことを新聞に投稿してみるのも良いでしょう。情報を受けるだけではなく発信することにも挑戦しましょう。

岩手日報以外の新聞でも、戦争に関するさまざまな記事が掲載されていますから、読み比べるのもいいですね。

２学期に向けて、新聞でパワーアップしましょう！

（岩手県立総合教育センター・女鹿芳文）

（終わり）

2020年 7月24日（金） 岩手日報

継承活動 被爆者8割困難

共同通信・全国アンケート

体力減、コロナ懸念も

戦後75年

主な質問と回答

問われる語り部育成

[感じたこと] 戦後75年もたつと、戦争の恐怖やつらい記憶を伝えることが難しくなると、あらためて思った。これからは、ぼくたちの世代が未来に伝えていかなければならない。

戦争について書かれた記事をスクラップする。ノートからはみ出したら折り返してもOK。３行ぐらいの感想を書き込もう

女鹿芳文さん

戦争や平和についての考えをつづった岩手日報「声」への投稿

釜石の「艦砲射撃」知り衝撃

山下さやか 39歳 会社員（釜石市）

日ある画像に衝撃を受けました。

◇前年のアジピーワールドカップの影響を受け、釜石市について興味を持つことが多くなりましたが、先

それは砲弾の破片が当通り穴が開いた民家のふまです。写真からでも伝わる大きな穴。記事を読み、1945年7月14日と8月9日に釜石市が「艦砲射撃」を受けた事実を知りました。

初めて知った「艦砲射撃」という恐ろしい響き、インターネットで多くの記事を読み調べ、空襲を体験した方々の手記やインタビューの動画を見て、想像を絶する恐怖と恐怖、悲しみに何も言葉が出ませんでした。

海から突然巨大な砲弾が飛んでくる。製鉄所だけでなく市街地にも砲弾が降り注ぎ、多くの方が犠牲となる。施設の倒壊や火災で